



ASSOCIATION OF



TOKYO

No. 4

発行 (財)東京都スキー連盟
 〒102 千代田麹町4-5
 第6 麹町ビル 551号
 TEL (262)2491・(261)5616
 発行日 昭和54年7月1日
 編集 S A T編集委員会
 印刷 エース工藝

総務部

部長 岡田興一

1シーズンは過ぎてしまうと早いものです。6月の予算編成から、代表委員会を経て行事——行事数も在京、現地を含め50数回——担当理事数もシーズンに入るとスケジュール表に振り廻され、気がつくシーズンが終る様なわけです。

79シーズンを願みて

登録及び各行事申込受付事務は近年大変な量なので、事務局では日割表を作り能率よく処理していますが、これも加盟団体の協力のお陰です。担当者会議の成果が事務運営に現われ良い方向を示しております。前回にもお願いしたSATだより配布について、更に各クラブで一考願いたいものです。都連が直接クラブ員一人一人と連絡を持ち得る唯一のものでありますから早く読んで戴きたい。50年記念誌発刊のため各クラブ員から都連の歩みのわかる貴重な写真及び文献等の協力を戴きましたが尚多くの資料を必要としています。お持ちの方は是非事務局までご一報下さい。54年度行事終了に当り加盟団体のご協力を感謝致します。

安全対策部

部長 中田英一

部としての行事は、一応計画通り無事終了はしたが、一つ一つをふり返り、また、全般的にながめてみると、いろいろな問題が発生して来た様である。救急法講習会場で、600余名の参加者に新改訂版の『スキーと安全』が、400冊しか購入されなかった事。残りの200名は、どうやって勉強するのか？ 又準指理論検定で、出題のしかたにも問題はあったにしても、これを当日削除した事。締具の調節については、数年来、力を入れて研究会等を開いてきたが、準指実技会場で、不幸にも何年ぶりの骨折者を出してしまった事。この場合も、締具は解放していなかったと報告されている。(当人が合格出来たのは不幸中の幸いである。)北海道の国体では、スキーブレーキの使用が禁止された事等々ブレーキによる傷害実例は未だに報告は出ていないが、危害予防という意味での実施であろうが、スキーにも、ローカルルールが実施されて、これに左右されることとなると、情報収集も、ますます大変になってくる様である。

普及部

部長 井上 衛

毎年、シーズン突入と同時に悩まされる雪不足は今シーズンもあった。来シーズンにおける指導員研修会は一考を要すると痛感した。

指導者養成講習会については、スキー技術そのものの目的と、指導技術を

全く同一なものとして考えられている傾向があった。もちろん異なるものではないが目的とプロセスを感覚的に整理して指導できる指導者を育成することが必要である。来シーズンはさらに徹底するようにしたい。

準指導員検定は、執行部の反省する点もあった。理論検定については、養成講習会で配布されたパンフレットだけを勉強すれば合格すると言うことではなく、スキー一般に関する巾の広い知識を持っている人が合格するよう改めるべきであると考えている。

デモ選については、今年是一人の入選に終わったが全般的にレベルアップしており、将来は多くのデモンストレーターが誕生すると確信している。

強化部

部長 水木秀雄

例年になく少雪の年で、雪上の最初の行事から会場を変更するというレーシングキャンプも、高・中学生の元気な選抜選手に希望選手を加えて六日町スキー場で無事好成績の内に終了、危ぶまれた苗間での美津濃杯・都大回転競技会も、スポルディングカップ・都スラローム競技会も、神がかったような開催直前の降雪で事なく予定通り成果を挙げて終了できた事は、選手共々運営役員にも喜ばしい事であった。

予選会は、計らずも群馬県予選と一日だけダブっての開催であったが、都連役員の献身的努力によって何の障害もなくスムーズに終了できたのは、ポイント採用による少数選手を対照としての余裕ある運営ができた為と考えている。都連クラブ対抗競技会と都連スキー大会も、極度の少雪の中を、地元石打関係者のご努力によって夫々一本ずつでも回転競技ができ、成績が出た事は本当に天の助けと感謝した。国体でも天皇杯第七位と全選手団の努力の成果があらわれた事も大慶至極であった。

ジュニア部

部長 鈴木邦雄

暖冬異変で、行事実施時期に雪のない状態が続き、「ジュニア選手権」というような大きな行事が止むを得ず中止されたりして、ジュニア育成の立場からは、悔いが残ったシーズンとなった。然し、南関ブロックジュニア大会兼中都予選会のように、「強化部」、「安全対策部」を始め、高体連迄ご協力を頂き、都連ぐるみの強力な体制

で、充実した大会を盛会裡に打ち抜いて、子供達に大きな目標を与えることが出来たシーズンでもあった。全国レベル到達には「未だ道遠し」の感を抱いて鳴子の全中大会から帰ったが、都連がジュニア育成の基本的考え方を築き、未来に向かって方向を定めたシーズンであったことは、何と云っても担当として感無量で、これからの展開に大きな希望を得た年と思う。

公式視察員として

普及部長 井上 衛

第11回インタースキーに公式視察員として参加した感想の一端を。開会式は寺内タケシとブルージーンズの演奏する日本色豊かな音楽で各国のデモンストレーターが入場した。各国の演技を見て感じたことは、一部の国を除いては非常に自然なフォームでターンをしていること、スキーヤーの層を拡充するための指導に努力していることの二点であった。前者については、日本のスキー技術の指導もより自然なフォームに形成されていくような指導体系を研究しなければならないのではないかと、後者については、いままではややもすると五体満足な人たちだけを対象とした指導理念があったのではないだろうか。しかし、今回は盲目の人達へのラングラウフの指導と身体障害者に対する指導と成果が発表され感激し、これからはこのような人達への指導態勢(体制も含めて)を考えるべきだと痛感した。

スキーヤーの眼から

SAT会員 G.H生

前宣伝が大きかったので蔵王スキー場は大混雑かと恐る恐る後半の会場を訪れてみたが、宿泊施設を筆頭に諸々の規制が利きすぎたのか世界20数ヶ国が集った第11回インタースキーは意外と閑散としていた。技術的な方向やその解説は諸賢から発表されるであろうし小輩の触れるところでもない。日本を初め各国の衣裳が白いゲレンデと青空の下に色とりどりに美しく、又、若いスキーヤーには日本のスキー歴史で当時のスタイルとそれに続く少しづつ、の技術の変革に興味を持たれたことだと思われた。各国の滑走、少年ジャンパーの育成過程、ラウグラウフ、ハンデスキー、そしてフリースタイル(アクロバット)となると、これはカーニバルであり、ショーである。国際会議場での各国発表

内容については知るべくもないが、スキー技術導入の差はあっても用具の平均化した進歩と、人体構造から生まれるスキーに対応する形は今後大きくは変化してゆかないように考えられる。暖冬のためモンスターの蔵王は訪れた外国の人々にその雄姿を表現できなかったが、一糸乱れぬ日本のプログラムにより会期は無事

終了し列国から好評を得たに違いない。SAJを中心に山形及各県連その他の協力者は裏方として大変なご苦勞をされたに違いないが冒頭述べたように一般客が敬遠し宿泊施設はかなりの空きがあり、従って稼ごも悪いですよ、とタク

シーの運転手が言っていたのを思い出します。

代表団本部役員として

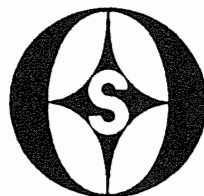
総務副部長 鈴木茂夫

華やかであったインタースキーも終わった。蔵王を彩どった8日間は、数々の話題を残し、地元山形では、インタースキー一色であった。日本代表団の450名余、その後、よくゲレンデで見かけた赤と白のユニフォーム、諸外国の選手達と、まことにきらびやかであったが、館崎理事(SAJ基礎教育本部専門委員)を中心に、与安理事と私(SAJ総務本部専門委員)に加えてSIA側から岡沢伸夫氏と4名の本部庶務は、各国のデモを見るわけでもなく、各種会議も横目で走りまわっていた次第。ご存知のように日本450余名は蔵王の各宿舎に分散、その連絡、インタースキー実行本部との連絡、各国代表団へ走り使い、エトセトラ、それにSAJ、SIA一致した日本とは言え、地元を含めた8つのチームをひきいるのが、大熊団長以下、本部は我々庶務を入れたった10名では、この8日間はキリキリ舞いであった。その合間を見ての、夜の、各国パーティーに交替で参加し、各国役員や選手達と交歓できたのは、せめての役得であったかも知れない。(P.S.)私はもしや、という気持で板を持って行ったが、8日間、板をつけて雪の上にとたてたのは2時間であった。



第11回 インタースキー・見聞記

あなたの技量を最高に発揮できるオガサカスキー



小賀坂スキー

名門クラブを訪ねて

東京スキー研究会



文京区本郷2-39-5 オリエント商会内、(814)5577。
昭和9年11月1日創立。昭和12年5月12日東京府スキー連盟（現都連）誕生と同時に加盟しました。

(団体番号 4)

古き歴史の一駒。昭和9年日比谷公会堂にて、日独スキー交歓の夕を開催。12年信州岡谷に於ける我が国初の関東ポップスレー競技大会に参加、優勝。同年岩原スキー競技大会主催。15年千葉県御宿のサンドスキー。16年越後湯沢初のスキーカーニバル開催。18年鬼努高原スキー場開拓。22年マチガ沢夏スキー大会実現のアピール。32年日本初の飛行機による北海道団体スキーツアー。38年千葉館山にて水上スキースクール等等枚挙にいとまがありません。

現在、都連元副会長 小里秋男会長以下古今の精鋭250名、正・準指導員53名を数え、この中より、当会名誉顧問の鳩山威一郎都連会長を始め、都連理事に2名、総務、普及部各専門委員、選管、推挙、財務の各委員会に計7名の会員を選出して居り、内4名が全日本の評議員、総務専門委員、役選委員及びブロック委員として、都連より派遣されて居ります。

当会は、商店主、会社員、医師、教師、会計士、調理士、音楽家、芸術家、神職、無職、主婦、学生等種雑多な人々の集合体であります。唯、好きなスキーをするという一つの純粋な目的に賛同した人々です。そこには政治も、経済も、航空機も介入しては居りません。スポーツマンに悪人なしとは、夙に世に知られている事でありませぬ。当会でも過去半世紀に互り、会内より沢山のカップルが生まれましたが、未だ悲しき別離を耳にしません。云うなれば釈迦的倫理性を持った善き仲間であります。

秋、シーズンの開幕を奏でる総会に始まり、夫々が三つのコースを旨ざします。

一般コースは、暮と正月、2月、3月の定例スキー学校。指導員

コースは、理論勉強会、強化合宿、本番の準指実技。チャンピオンコースは、ポール教室、予選会、出られれば本番は国体、全日本又は都民大会、草競技への参加。

そして4月は皆んなで運動会、5月ゴールデンウィークのお花見スキー、6月の納会で締めくゝります。オフは有志で夏スキー、野球大会、麻雀大会、テニス大会、ゴルフコンペ等の献立があります。

この中、勉強会、合宿、運動会には、当会からの分家の人、友好クラブの人、無関係クラブの人々等、会員外の参加者も多数あり、交流を深めて居ります。

特に1月の強化合宿は、単に技術の切磋だけではなく、団体生活での規律、一般人としての礼義、指導者としてのマナー、インスタントラーメンの調理法、アルコールの嗜み方等、修身から家政、健康管理に至る迄の総合指導で、極めて好評です。

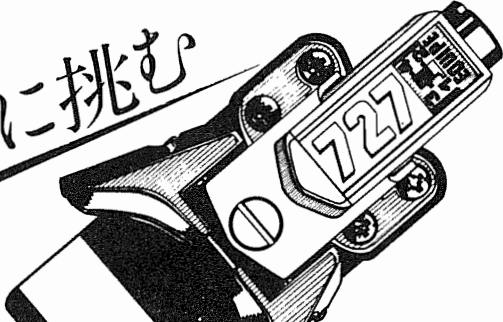
本年9月27日には当会創立45周年の記念パーティーを開催します。その昔「滑転会」と称して産声を上げた十数名の先人の足跡の中に、連綿として流れる庶民的市民体質は、レディー・ファーストの思潮と共に当会の一つの特色として引き継がれ、今に生きています。

此のせち辛き現世にあつて、一服の清涼剤としてのスキーの楽しさを、一人でも多くの人に教えたいのが私達の念願です。老若幼の男女を問わず、当会はいつでも、心から微笑み乍ら、新人を迎えます。


(K.Y記)



安全の限界に挑む



世界のビンディング基準・サロモン



SALOMON
人間とスキーの絆
三井物産スポーツ

スクオーバレー印象

岡田興一

何しろでかいスキー場である。ちょっと形容したり、比較できそうもない。サンフランシスコからハイウェイをとばして、約5時間。山の中、タホ湖岸に立つ、オリンピック参加国の記念ボードに日本を示す菊の御紋章を横目に見ながら、こ、スクオーバレーに着く。

前年、スクオーバレーのスキー学校、副校長格の日系インストラクター、ケン・カナダ氏が日本を訪れ、わがSAT総務部と意見交換を計ったのが縁で、その御返礼というわけではないが、訪れたわけである。この“SAT 紙上にもケン・カナダ氏のアメリカスキー事情がのせられたのも記憶に新しいであろう。

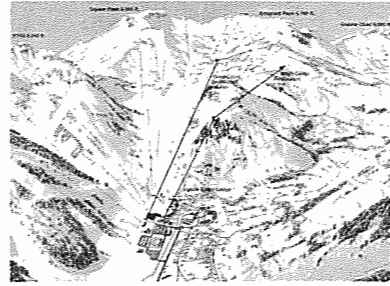
スキー場のケーブル乗場にホテルがあるのも珍らしい。オリンピック時に選手達が入ったホテルに泊る。ケーブルで中腹まで、それからリフトを乗りついで頂上、標高約3,000m。因みに、スクオーバレーの全リフト数23、全部ダブルチェア、ゴンドラ2つ。これが1つの山に集中して設置。

1日、ヘブリンバレースキー場に遊びに行った。これまたデカイスキー場であった。ちょうど日本で言えば蔵王を、3,000mの高さにして山両面を雪線までフルに利用したようなもの。カリフォルニア側、ケーブル1、リフト12、ネバダ側リフト7。

われわれが日本で、SAT会員として一生懸命おそわったスキーテクニックと、アメリカのスキースクールで教えているテクニックとは、見た目では、全く異質のものであった。第一、指導法そのものが違っていた。最初とまどろばかりであった。というのも、スクオーバレー、スキースクールの好意で、ケン・カナダ氏を始めとして、インストラクターが、その他2名、われわれの案内役として派遣され、滑りながら、また昼食をとりながら、はたまた、夕食後、一杯やりながら、語りあったからである。しかし、結局のところ、滑る原理、ポイントは、よく見れば、われわれと変るところがないとは、われわれの一致した意見であった。特に、SATの誇るデモンストレーター本間尚氏のゲレンデ(?)狭しとばかりに見せる華麗な滑りは、わがスキーテクニックとして誇りに足るものであった。

斜度30度~35度の、3,000m頂上からの新雪の滑走は、爽快そのものであった。もともと、われわれはやつとの思いで滑り降りたわけであるが、本間氏はいとも軽々と、飛

燕の如く事もなげに滑降し、ケン・カナダ氏に、この頂上から岩稜ぞいの、この難コースを、“これより、このコースを、SATコースと名付けよう”と言わしめたのは、今回のスキー行での、格別のお土産であった。



事務局だより

SAT第2号に昨年載せて大変好評でしたので、昭和55年度(7月1日から)の都内行事予定(案)についてのあらましをお知らせいたしますのでご参考にして下さい。なおこの(案)は9月2日(印)の評議員会の議を経て9月16日(印)の事務連絡担当者会議において「55年度オールマナック」により要項等の説明がなされます。

- 7月20日(金) 評議員・推挙委員立候補締切、都連事務局18時必着
- 26日(木) 55年度定期評議員会(代表委員会)招集状発送
- 8月9日(木) 評議員会 資料発送
- 23日(木) 加盟団体提出議案締切
- 9月1日(日) 評議員・代表委員の出欠、委任状等確認、欠席団体はこの日までに委任状(ハガキ)をお忘れなく送って下さい。
- 9月2日(日) 55年度定期評議員会(代表委員会)開催(会場 板橋区立高島平区民館)(評議員・推挙委員)改選
- 5日(水) 救急法講習会(準指受験資格D項)申込受付開始
- 5日(水) 指導員養成講習会(準指受験資格C項) 準指導員検定会
- | 申込受付開始 〆切9月29日
- | 〆切10月6日
- 16日(日) 事務連絡担当者会議開催(会場 青山学院大学の予定)「オールマナック」により55年度行事等説明
- 9月25日(水) ①加盟団体負担金 ②会員登録料(SAJ・SAT) ③公認資格者年次登録料=納入金受付開始 10月末日まで
- 10月7日(日) 救急法講習会開催(会場 青山学院大学の予定)
- 21日(日) 指導員養成講習会(会場 明大和泉6番教室)
- 11月11日(日) 指導員研修会(A)(会場 明大和泉6番教室)
- 18日(日) 〃 〃 (B)(会場 青山学院大の予定)
- 23日(金) 準指導員検定会(理論)(会場 青山学院大の予定)

エキサイティングな話題! ストッパー完全内蔵型

いまスキー界の大きな話題は“Dシリーズ”なかでもストッパーがヒール部本体に完全内蔵されたSD-88は画期的なものです。スキー靴をセットするとストッパーは上にあがり、解放されると自動的に下に降り、スキーを停止させます。



SD-88



HOPE ¥15,500 フルセット・ステップインタイプ・エキスパートモデル・カラー/ブラック

都連三役のプロフィール



鳩山威一郎 60才 会長

参議院議員、元外務大臣。所属 東京スキー研究会。

少年期より健康法としてスキーに親しむ。卓球、ゴルフの愛好家でもある。東大法学部卒、都連会長2期。



岡沢吉夫 65才 副会長

昭和26年八王子市体協会長、36年同市スポーツ少年団本部長。

31年都連理事、43年副会長に就任。現在財務委員長を兼務。45年全日本常任理事、公認スキー学校協議会委員長の要職を歴任。30年代、指導普及の第一線で活躍した。49～50年、多事多難な会長空白期に、第一副会長として、良く会長職代行の任を全うした功績は特筆すべきものである。おひげさん、岡沢天皇の二つが愛称されているが、統計上前者が多く呼ばれている。戦後、紙上にテポットを浴びた、自称熊沢天皇なる人の出現によるものなのか、明治天皇の御ひげより連想しての呼称なのか、単純なる親近感の表現なのか、審かではない。何れにせよ、愛称を冠せられるのは、人望の厚い証明である。都国体選手団長9年連続の記録が語るとおり、健在であり、都連の重鎮である。都下スキー連盟協議会々長、志賀高原スキーク会長。明大卒。法坂にてヴィラルベン経営。



坂野幸雄 56才 副会長

昭和29年都連理事、43年理事長、47年より副会長として現在に至る。

36～47年、全日本常任技術員として、公私共に第一線で活躍、全国津々浦々に足跡を記した。現都連内の指導者で、氏の薫陶を受けた者は数知れない。夜明と共に滑り、日没と共に飲み語った当時の思い出は、永く人々の脳裏を去る事はない。現役を若手に託した昨今でも尚、周囲にスキーヤーが絶えないのは、氏の人徳であろう。53年社会体育功労者として、都体協より表彰を受けた。通称「チロ」さん。剣道の達人。明大経営科卒。日本アルペンスキーク会長。



清水英樹 68才 副会長

ヒッター得意の時、即ち昭和5年御田小訓導にありし頃、体育研究を志し、日本水上競技連盟資格者、大日本体育会・厚生省体力局各主事。21年、バスケット連盟評議員、理事、理事長、顧問 法政・立教大学バスケットボール部監督。

都体協評議員、理事を経、現常務理事。33年、都連理事、現副会長、全日本理事。47・8年、都教育委員会、都知事、文部大臣より社会体育功労者として表彰さる。自らはスラロームスキークを主宰して居り。千葉カントリークラブ理事、グリーン委員長。戦前よりの黒髪未だ変色せず、都連七不思議の一なり。一時眼病嵩じたるも、旧に復し、尚、嬰鑠として現役に有り。



菅 秀文 57才 専務理事

慶応文学部卒。翻訳家。ヴェスタスキーク会長。徳川光圀縁の地に産す。

昭和12～14年、神宮大会に出場。17年、海軍に應召し、某所にて連合軍と華々しく交戦せるが如し。20年、中尉殿にて復員。42年都連理事、47年理事長(現専務理事)の要職に推され現在に至る。47～50年、全日本に在りて「日本スキー教程」編集委員長、常務理事、国際スキー指導連盟理事を歴任、激務を消化す。53年全日本に復し、総務本部長。今冬の蔵王インタースキー委員。名は体を表わす のとおり カン の鋭きこと、精力的なること、良く小軀を補って余りあり。独英日、三カ国語を良くす。雪上にありて喜の字色サロベットにて号する様は、戦後海軍略帽を冠し、上野界隅を闊歩せし姿、今にして彷彿たり。(文責 与安)

'80蔵王スキーパック

54 $\frac{1}{20}$ (木)～55 $\frac{1}{3}$ (木)
毎日運転

樹氷号

往復バス代・宿泊費をパックした
オトクで手軽なスキー
いつでもお好きな時にどうぞ

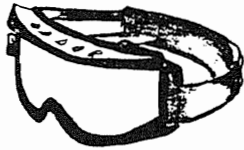
⑤ 上野発 23:00 ⑤ 蔵王着 7:00
⑤ 蔵王発 12:30 ⑤ 八重州着 20:00

(あなたのクラブのスキースクール用、団体貸切スキーバスのご用命は、安全・快適と実績の山形交通へ!!
ご一報下されれば、係員が、すぐ参上します。)

予約は9月1日から受付します 〒110 東京都台東区東上野3-39-10
予約センター山形交通東京営業所 ☎ 03-831-3 0 3 1

定員11名。任期2年。現在の委員長は5代目である。1940年代の後半、嘗ての「すまじき代表委員会」時代、執行部は直接選挙によるべし、との決が下され、国政選挙の方式を取り入れた、現行規程の原型が作られた。以来、選挙委は黙々として我が道を歩んでいる。他の委員会は、都連の中核と精神的、或は哲学的ヒモ付であるとも云えるが、選管委は孤独と正義の独立分隊である。選挙に関連する事項の公平な管理、実行がその仕事である。委員の委嘱は、代表委員会で指名された加盟クラブが、夫々1名の登録会員を届け出ることによって決定する。本年は改選年である。「頑な」人であっても、多少変人であっても、そして無名であっても勿論良い。世に無銘の名刀は数多い。

ゴーグル



※来年度の準指受検者と有資格者へ

教程改訂の動きにともない、準指を来年度受験される方は多少なりとも心配なことでしょう。改訂については、各ブロック員からアンケートをとり集約の終わった段階です。字句の修正だけならばともかく、写真の入替をもやるとすれば来シーズンには間に合わないのではないかと考えられます。したがって現況では、現在の教程で実施をすることになると思います。なお事情が変わった場合は、加盟団体へ早急に連絡します。プロスキー教師が、社団法人化する動きがあり、S.A.Jの有資格者の組織化がクローズアップされました。これについて5月15日S.A.Jで検討委員会（諮問委員会）が開催され論議した結果、もっとも関係の深いのはS.A.Jの公認スキー学校とその指導員であるので、公認スキー学校協議会等の設置も含め組織体系を考え指導員の充実を計ることになった。しかしこれは委員会の集約であり、決定は評議会の議を経て理事会であり今後のなりゆきが注目される。（井上）

この委員会は、本連盟の資金調達を推進を図り、円滑な運営に資するため、委員は理事会の議を経て、会長が委嘱し現在定員一ぱいの20名で構成されている。具体的業務の主なものとしては、評議員会に毎年度提案される資金調達の基本計画の作成、賛助会員に関することである。賛助会員とは、『本連盟の趣旨に賛同し委員会の業務に協力する者』とし、会員は『定められた会費を納入して、その見返りとして本連盟の各種資料及び図書の優先配布、特定行事の優先的招待が受けられる。納入会員数（口数）は、

	法人	口数	個人	口数
53年度	7	(70)	48	(70)
54年度(4月末)	0	(0)	29	(37)

であり、会員数が減ってきている。いかにして資金を集めるか、賛助会員のメリットを、もっと考えられないか、今後の財務委員会の役割は難かしく且重大なものがあ苦慮している。良いアイデアが、あれば事務局まで、ご一報下されれば幸甚と願います。

※指導員ライセンスの改訂について

S.A.J基礎スキー指導員各位は今年から指導員ライセンスが改訂されます。改訂に伴う更新手続は、各指導員より直接S.A.Jにお願いします。そのための書類を所属団体宛(事務連絡担当者)送付しましたので「交付取扱依頼」書の1)~5)により全日本必着7月末日までに手続を完了して下さい。

※ヨーロッパスキー研修ツアーについて

昭和55年3月26日(水)~4月6日(日)12日間。

参加資格 一 都連会員

主として、サンクリストフ国立スキー学校にて研修の予定。(基礎スキー有資格者は、指導員研修会終了とみなされます)詳細は、近く発表します。

SAT編集委員会：委員長 大槻譲、委員 鈴木茂夫、与安康二、中川捷一、西生且矩、山田幸三



HUBER
 ゴールへの進撃に
 情熱をかける

スポーツは世界のこぼし
asics
 株式会社アシックス